

原発再稼働阻止 全国ネットワーク ニュース



101-0061 東京都千代田区三崎町2-6-2 ダイナミックビル5F たんぽぽ舎 気付

ニュース第13号
2018年1月10日

発行：再稼働阻止
全国ネットワーク
(070-6650-5549)

再稼働ラッシュに抗する 第20回全国相談会（福井） 天野 恵一〈事務局〉

2017年12月14日、四国電力原発3号機（愛媛県伊方町）の運転差し止めの仮処分の即時抗告審（広島市の住民らが申し立てた）で、広島高裁は運転差し止めの決定という画期的な判断を示した。その内容は「火山リスク」の想定がまったく不十分であり、原子力規制委員会の判断が妥当性を欠いた「不合理」なものであると明言するもの。それは再稼働に反対していた住民が一貫して主張してきた点でもあり、今「再々稼働」反対に立ちあがっている住民の前に立ちふさがっていた広島高裁判決をくつがえす司法判断である（1月に予定されていた再稼働は当面ストップ）。

この反原発運動を力づける「決定」が出される直前、私たちは12月3日の「大飯原発動かすな！現地全国集会」（福井県若狭）にあわせて、2日、3日に「全国相談会」を持った。ここでの中心ニュースは、再稼働ラッシュとも言うべき事態が現出しだしている状況で、福井県内で運転を続ける関電の高浜3・4号機（高浜町）と合わせて、大飯原発3・4号機が再稼働されてしまえば（すでに西川一誠知事は同意している）、近接する二つの原発が稼働するということになってしまう。なんとしても、この事態を阻止していくために、全国の反対運動の力を〈大飯原発再稼働阻止〉のために、どう集結していくかこの点が最大の中心テーマであった（もちろん「伊方」の再々稼働ストップの運動とどうつながるかという問題も含めて）。

原子力規制委員会の五年

もちろん、そこではいつものように北海道・青森から九州まで各地で各原発立地での闘いの具体的なレポートがなされ、それをふまえた意見交換（討論）もつみあげられた。

その中で議論が集中したのは、初代委員長田中俊一の五年が終わり、新委員長体制に入った原子力規制委員会の、この間の活動への歴史的批判（検証）の運動の全国

共有化（東電の柏崎刈羽原発6・7号機〈新潟県〉の再稼働ゴーがその田中の最後の手みやげ）。本当にすべきことをキチンとせず、電力会社・政府の再稼働推進に最大限協力し続けている、この委員会への批判を全国的に集中する作業を、どう共有するかという点が熱心に討論された。まだ、科学・技術の専門家集団である「規制委」がOKを出しているのだから、それなりに「安全」という神話が、行政や一部マスコミを支配している現実を変えていく必要が、「規制庁」の存在する東京のみでなく、各地で実感されている結果である。あわせて、「神戸製鋼の改竄製品」が納入されているという問題が「再稼働」にブレーキをかけている事態などへの注目を通して、「規制委」の「適合性審査」のインチキをさらに明らかにしていく必要などが確認された（もちろん、広島高裁の伊方原発についての「判断」も、積極的に活用すべきだろう）。

東海第二原発をめぐる

もう一つ、「東海第二原発（日本原電）」の再稼働準備が進められている状況をめぐって、この東京に一番近い原発の再稼働反対行動に原発のない、「東京」の人間こそが、積極的に取りくもうということが語られた。さらに原電は廃炉・解体を他社に先んじて進めているのだから、廃炉事業のみに集中すべきと、要求すべきか否かをめぐって、〈解体して廃炉〉というイメージは、たいへんな被曝労働と、放射能汚染物をふりまくという実態を無視しすぎているという批判の声があがり、討論が盛り上がった。「被曝」を最小限にしながらの廃炉のプロセスをどうつくりだせるのか、より具体的に検討してみる必要があること、すでに電力会社によって取りくまれている廃炉プロセスがどうなのかが、私たちに隠されており知らないのは大問題という結論。相談会で継続的に論議されるべきテーマの一つと確認された。

12月3日 大飯再稼働反対！現地集会報告

若泉政人（サヨナラ原発福井ネットワーク）

12月3日、おおい町総合町民センター大ホールにて「大飯原発うごかすな！現地全国集会」が開かれました。北海道から鹿児島まで、全国の反原発の仲間が集まり、各地の状況報告とともに大飯原発再稼働反対の声を上げ、デモ行進をしました。ご参加くださった全国の皆さん、ありがとうございました。会場は500名の参加者で一杯になり、政府、福井県、関西電力に原発NOの声を突きつけることができました。11月27日に西川福井県知事が再稼働に同意をした後であるだけに、原発に反対する私たちにとって集会は重要な意味を持ちました。集会開催に奔走された若狭の原発を考える会の木原壯林さんと関西の皆さん、関係者の皆さん本当にありがとうございました。僕は当日、福井から原発を止める裁判の会の小野寺恭子さんと共に司会を務めました。

集会は、まず「福島から」ということで大熊町議会議員の木幡ますみさんが、帰還政策を進めようとする行政と住民との思いのズレを中心に報告されました。再稼働を進めたい政府や電力会社を追及する立脚点は福島事故であるとの認識を新たにしました。

ついで「全国から」ということで、青森、富山、東京、静岡、香川、鹿児島から各地の報告がなされ、再稼働と現地の闘い、そうした大きな流れの中で大飯再稼働の位置付けを確認しました。続いて11月20日に名古屋高

裁金沢支部で結審となった「大飯原発差止訴訟」の弁護団長である島田広弁護士からの報告があり、関西電力の地層評価の欺瞞などをスライド使って分かりやすく説明されました。大飯訴訟は樋口判決（人格権、国富は人々が安全に暮らせることなど）を守るため原告団も名古屋高裁金沢支部前でのアピール行動やデモ行進、署名など様々な取り組みをしてきました。原告の一人である僕も何としても原判決を守りたいと思います。

「地元・若狭湾沿岸、京都府北部から」ということで、舞鶴市、宮津市、高浜町、おおい町、小浜市、若狭町、美浜町、敦賀市から現在と今後焦点を当てたアピールがされました。京都の方の替え歌で笑いを誘うアピールがあるなど、僕たちの抗議行動にも参考になりました。一方、原発立地の各町のアピールからは、原発に反対である人々にとっては苦しい状況であることや、若狭町で自主的にアンケートを行ったところ、原発事故が起これば住民避難できると答えた人は5%、できないと答えた人は60%という結果が出たことなど、住民の声の掘り起こしの大切さを感じました。美浜町の松下さんは将来的なビジョンを立てる町の取り組みに関わることなど明るい内容を伝えられました。

終盤になり「関西各地から」滋賀、京都、兵庫、反原発自治体議員・市民連名関西ブロック、「労組」として全日建連帯労組関西地区生コン支部、ユニオンネットワーク・京都の方々からの連帯のメッセージが全国の反原発の皆さんと共有されました。

集会後のデモ行進は長蛇の列となり、壮観でした。町なかでは玄関から出てきて私たちにうなずく男性や、賛意を示すような女性などもおられ地元おおい町での民意の変化を感じました。とても実りのあるよい集会に参加できたことを感謝申し上げます。

私たちは現在、核のゴミの写真展をJR福井駅東口のアオッサ5階にて開催しています。原発とゴミの問題は、原発に賛成反対の別なく喫緊の課題です。12月14日～18日まで開催します。来年は鯖江市、そして原発のある嶺南でも開催したいと思っています。また、山崎隆敏さんも本を出したりしている「原発と地元経済（原発なしでもやっていける）」という問題も、広げていけたらと思っています。

これからも全国の皆さんと連帯し、原発のない社会を目指していきます。



STOP! 伊方原発高松集会を終えて

脱原発アクション in 香川 名出 真一

最初に全国各地から予想を大きく上回るご参加いただき、本当にありがとうございました。

当初は10月に行う予定だった集会ですが、安倍が自らの不正追及逃れのために衆議院解散という暴挙のために集会を延期せざるを得なくなりました。それまでの準備やチラシは全て無駄になり腹立たしい限りでしたが、予定通り実施していれば台風直撃でした！

今回の全国集会は昨年8月に再稼働を許してしまった悔しさが毎週金曜日に四電前に集まるたびに強くなってきたことから、たとえ定期点検でも原発が止まることに変わりはない！何としても今度は動かしたくないというみんなの思いから再再稼働での全国集会になりました。

31回目を迎えた年に一度行われてきた「伊方集会」によって四国4県や広島、大分などの瀬戸内の市民運動が結びつき、3.11移行毎月11日に伊方現地で「八幡浜・原発から子供を守る女の会」によって行われている「11行動」によってその輪は更に広がり、ますます強固なものになりました。そしてこの間行なわれた関電包囲行動、高浜、大飯での現地行動と四国の運動とが呼応し、阻止ネットに結集する多くの仲間の協力によって今回の集会を実現することが出来ました。

50年に渡る各地の原発現地の闘いと、3.11によって

これまで沈黙してきたことに対する悔やんでも悔やみきれない思いとが繋がったことによってより大きな運動になって来ていると感じています。集会の場所となった高松は、四国電力の企業城下町であり、原発は嫌だと思っ
ていてもなかなか声が挙げられないと言う人も多くいます。日々の活動を支えている人の数も他の県に比べると圧倒的に少ないのが現状でした。それでも数が少ないからこそ一人ひとりが動きました。大きな組織に根気強く働きかけをしてくださった方。色んなところにビラを持って行き1枚2枚と広げて行ってくださった方。そんな小さな力が集まって500人という大きな行動になりました。四国、九州、中国、関西と広範囲なネットワークと、一人ひとりの小さなネットワークこの二つの力が合わさることがいかに大きなうねりとなるかを今回実感として持つ事ができました。

これから政府や電力資本はますます強力に暴力的に再稼働を進めてくるでしょう。これに抗うために私達は繋がることで闘う事が最も効果的なものであると思います。次は1.20~21伊方現地集会です。高松集会の2日後には広島高裁で画期的な勝利判決も出ました。このまま一気に伊方原発を廃炉に持っていきたいと思います。ご協力お願いいたします。



若狭の原発全廃に向けて 「若狭の原発を考える会」の当面の活動計画(案)

木原 壮林 (若狭の原発を考える会)

政府と関電は、若狭の原発を次々に再稼働させることによって、日本中の原発再稼働に弾みをつけ、原発依存時代の再来を狙っています。したがって、今春早々に画策されている大飯原発再稼働を阻止する闘いは、「原発、是か非か」を問う天王山になります。「若狭の原発を考える会」は、次のように闘います。

1. 原発現地と原発電気消費地での原発 NO! の闘いを圧倒的に高揚させ、「脱原発・反原発の民意に逆らったらとんでもないことになる」ことを、政府と電力会社に思い知らせなければなりません。具体的には、

① 毎月2回のアメーバデモなど、現地での地道な闘いを拡大・強化します。

② 関電本店、各支店での金曜行動に極力結集します。最近の行動として

③ 大飯原発再稼働に反対する大規模なおおい町現地全国集会と町内デモを12月3日に勝ち取り、大飯原発1、2号機の完全廃炉と3、4号機の再稼働阻止を目指す、原発立地での運動を構築しつつあります。

④ 力およばず、大飯原発3、4号機の再稼働が画策される場合は、断固とした現地闘争を組織します。

2. 若狭で、原発にたよらない町づくりを考える取り組みを強化します。

「若狭の原発を考える会」は、アメーバデモなどの活動を通して、原発立地若狭でも、脱原発を願う声は圧倒的多数であることを実感しています。しかし、この声が、顕在化せず、選挙にも反映されていないことも事実です。その一因は、原発のない町づくりの展望が示されていないことです。

「若狭の原発を考える会」は、「原発にたよらない町づくり」を考える一助になることを願って、15年高浜町、16年美浜町、17年高浜町でシンポジウムを開催しました。何れのシンポジウムも会場があふれるほどのご参加を得ました。この活動を、さらに充実させたいと考えています。

「若狭の原発を考える会」は、「原発にたよらない町づくり」を考える一助になることを願って、15年高浜町、16年美浜町、17年高浜町でシンポジウムを開催しました。何れのシンポジウムも会場があふれるほどのご参加を得ました。この活動を、さらに充実させたいと考えています。

この他、アメーバデモなどで、原発にたよらない町づくりに関するチラシの配布を随時行います。

3. 全国、世界の運動との連帯を強化します。

最近の行動として、12月10日の高松市での「STOP! 伊方原発高松集会」に参加・連帯しました。また、11月27日には、祝島で上関原発建設反対の皆さんとの交流をしました。今後も、原発全廃を目指して、全国、世界(とくに韓国)の脱原発・反原発運動との連帯を強化します。



韓国・福島・関東・関西の仲間が参加したミニアメーバデモ(2017年8月5日:高浜町音海地区にて)

東海第2原発の再稼働阻止！最重点で闘おう 東京に一番近い原発、被災した老朽原発、原電は赤字会社 東京圏での大衆行動と茨城との共闘がキメ手だ

2018年 脱・反原発の課題と展望

柳田 真（再稼働阻止全国ネットワーク、たんぽぽ舎）

1. 東海第2原発を東京圏の重大争点として押し上げよう

12月13日（水）の再稼働阻止ネットワークの定例会合では、東海第2原発を最重点として闘おう。東京の反原発運動のターゲットとして闘おうとする意見で全員が賛同し、固まった。2018年は関西の若狭の原発群（大飯、高浜、美浜）と並んで、東は茨城県の東海第2が重点だ。東京の再稼働反対運動の力量・ガンバリが全国から注視される。

ただし、日本原電と東海第2原発再稼働は、正直言ってあまり知られていない。我々の出発点はこの事実認識から始まる。広く知らせよう。東京圏に一番近い原発と東京に放射能がくる近さの原発だ。東京圏の闘いが全国から注目され、互いの連携もワンランクUPが期待される。

2. 東海第2原発の問題点（主なもの）

★60年も運転するつもりか？

難燃性の電気ケーブルが古すぎ、お金が足りないの
で、半分は新しいケーブルに替えないで不燃性のシートを巻いた。それで大丈夫か？耐震性裕度がない。ひび割れが40か所もある。

★津波に耐えられるか？

東海第2原発は海拔の低い敷地に立地。津波の危険性大。防潮堤を造っているけど大丈夫か？

★96万人が避難できるのか？

東海第2原発の30km圏内に96万人が。こんなに大勢の人たちが一斉に避難できるのか？避難できない。福祉施設の大看板は訴えている。

★事故の時の補償は？

2000億円にも上る安全対策の費用を借金するために東電に債務保証をしてもらわなくてはならない会社。事故ったときに補償してもらえるのか？

★2011.3.11で被災・事故った原発

あの東日本大震災で、東海第2原発は地震・津波で冷却機能の一部を失い、一時とても危機的な状態になった。あわや「福島原発事故の直前」だったのです。被災

（・・）原発です。

★日本原電は赤字会社。安全対策費1800億円を出せない。東電や東北電力の「債務保証」が頼りだが、「税金半分の東電」が借金の保証人になるのはおかしい。本来ありえない話だ。

★すぐ近くに危険な再処理工場がある。青森の再処理工場と並んで、超危険な施設だ。

3. 闘い方

イ。茨城の人々の闘いと、そことの連携が大事。地元
の申し入れを拒否して会わない原電本社を糾弾。（東京千代田区に本社）

ロ。東京圏の闘いが注目されている。大きな共同闘争を。連絡組織を。千葉、埼玉も

・・・。

ハ。東京電力との闘いが大事。債務保証の問題その他。

ニ。全国との連携が大事一再稼働阻止ネットの出番だ。

ホ。来年1月～11月までが大事（2018年11月28日が40年）

ヘ。関西・若狭の原発を考える会（木原莊林さん）らに学び、独自の大衆運動や学習会で先行してがんばる。（ハガキ活動の声―東海村の人から）



大飯全国相談会に参席して

須藤 光郎

くまです。タンポポ舎には大変お世話になりました。どの面さげてとためらいましたが、無沙汰も限界とまいりました。おまえらなにやってんだよ！としかかれていたような2日間でしたが、ストップ川内原発3.11 鹿児島実行委員会のメンバーは玄海の運動にでかけていました。

鹿児島に住民票を移して、1年になろうとしています。脱原発川内テント支援が急務ですが、会議の議論からずれますが、やはり、桜島の存在についてお考えいただきたい。核搭載の飛行物体が、火口に落下したら、当然、世界の終わりでしょう。観光地として展望台はいくつもありますが、湯平展望台には、敵に勝つためには、敵に学ばなければならない、とほりこまれています。あの薩英戦争のことでしょう。要するに、ここには、近代とは、近代国家とは、武器とは、戦争とはという現実と歴史が

充滿しているのです。宇宙開発基地、種子島、肝付のロケット開発センターの活躍はおそろしいばかりです。そして、戦後のように、戦争史観、究極兵器への核開発戦略こそ、敵なのだという世界平和への地平をもういちど、全力をあげて構築実践しなければ、人類は終わる。原爆も原子力発電も核開発による宇宙植民地づくりも、閉鎖実験過程にすぎません。つらい観点ですが、広島、長崎、ビキニ水爆による第5福竜丸、そして福島はこのあり得ない実験場になげこまれたともかんじられます。

全国相談会では、連帯できるほどの技量をさしめさなくては、推進派に蹴倒されるという厳しい実感を持ちました。

桜島の噴煙を見ながら、よくも核開発ののろしまであげられるものだ、如何に闘うか日夜悶々ではあります。がんばります！



後記

2017年も忙しい日々でした。1月・5月・12月再稼働阻止全国ネットワークの全国相談会を、それぞれ大阪・東京・若狭大飯で開きました。泊・大間・福島・伊方・玄海・川内など原発各地の集会へも行く人が参加し、5月の高浜や8・11月の東海村はバスツアーを組みました。毎月の電力会社抗議に原電も加わり、19日の総がかり国会周辺ではチラシ配り、人の大勢集まる集会ではカンパ袋持参して。毎週会議は水曜2時から5時近くまで。Kさん、Iさんは昼の規制委員会抗議を終えて駆けつけます。

へとへとに疲れるけど安倍政権より先に倒れるわけにはいかない。全原発が廃炉決定の日まで生き延びて頑張りましょう。(事務局 青山)

『再稼働阻止全国ネットワーク』

連絡先 TEL 070-6650-5549 FAX 03-3238-0797 info@saikadososhinet.sakura.ne.jp

東京都千代田区三崎町 2-6-2 ダイナミックビル 5F たんぽぽ舎気付

共同代表 中島哲演(福井) / 佐々木慶子(ふくしま WAWAWA-環・話・和の会) / 柳田真(たんぽぽ舎)

斎間淳子(八幡浜・原発から子どもを守る女の会) / 佐野慶子(元静岡市議会議員)

近藤ゆき子(刈羽村 生命を守る女性の会) / 鎌田慧(ルポライター) / 広瀬隆(作家)

・再稼働阻止全国ネットワークホームページ saikadososhinet.sakura.ne.jp/

・郵便振替口座 [00110-0-688699] 加入者名: [再稼働阻止全国ネットワーク]

・銀行など 預金種目: 当座 (ゆうちょ銀行 金融機関コード: 9900 店番: 019)

店名: ○一九店(ゼロイチキョウ店) 口座番号: 0688699